まちのバリアフリー情報の提供

【大阪府の取組み】

大阪府では、バリアフリーに関する新たな情報発信の取り組みとして、車いす使用者用トイレやエレベーター等のまちのバリアフリー設備のストックを有効に活かすため、鉄道事業者、市町村や民間事業者と連携し、現在個別に公表している鉄道駅の構内図とその周辺地域のバリアフリー情報を、府のホームページで一元的に集約し提供しました。(平成 29 年 3 月 29 日より公表)

○大阪府ホームページ「まちのバリアフリー情報の提供」

http://www.pref.osaka.lg.jp/kenshi_kikaku/bf_jyoho/index.html

○提供している情報

項目	内 容	駅 数	
構内図	バリアフリー設備の位置が分かる駅の構内図	352	
バリアフリー	エレベーターや車いす対応トイレ等のバリアフリー設備の有無	352	
設備	及び各設備の状況		
バリアフリー	バリアフリー基本構想の情報	209	
基本構想	ハッテンサー		
バリアフリー	地域における車いす対応トイレの場所のほか、公共施設や	68	
マップ	商業施設等のバリアフリー化の状況を掲載したマップ	08	

【市町村等の取組み】

〇まちのバリアフリーマップ作成

· 豊中市、高槻市、箕面市、東大阪市、大東市

〇地下街等のバリアフリーマップ作成

・ホワイティ梅田、クリスタ長堀、なんばウォーク、NAMBAなんなん、 あべちか、りんくう公園

鉄道駅等のバリアフリー化の推進

【駅の段差解消の状況】

大阪府の現状

			府内駅数	
総馬	総駅数			
利月	利用者数 3,000 人/日以上駅数			
	段記	差解消済み駅数	397	
	段差	35		
		整備予定あり(連立事業含む)	30	
		未定(構造上の困難駅)	5	

国交省公表資料等により作成 [平成28年3月末現在]

	大阪府	全 国
バリアフリー化率	91.9%	86.0%

◇国の方針(平成23年3月:移動等円滑化の促進に関する基本方針)

・計画期間:平成23年度~平成32年度

・原則として、利用者数 3,000 人/日以上の全ての駅についてエレベーター等を設置することにより段差解消を図る

【内方線の整備状況】

大阪府の現状

大阪府調査により作成 〔平成 29 年 3 月末現在〕

利用者数 10,000 人/日以上駅			利用者数 3,000 人/日以上 10,000 人/日未満駅			利用者数 3,000 人/日未満駅					
駅数	設置済	残数	設置率	駅数	設置済	残数	設置率	駅数	設置済	残数	設置率
303	256	47	84.5%	128	87	41	68.0%	81	17	64	21.0%

◇国の方針(平成28年12月:駅ホームにおける安全性の検討会)

- ・利用者数 10,000 人/日以上駅は、平成 30 年度までに整備すること
- ・利用者数3,000人/日以上駅は、可能な限り速やかに整備すること

※ 府内の利用者数 10,000 人/日以上駅については、平成 29 年度末で設置完了見込み



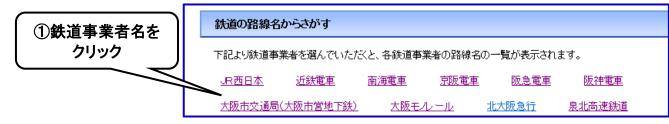
【今後の取組み】

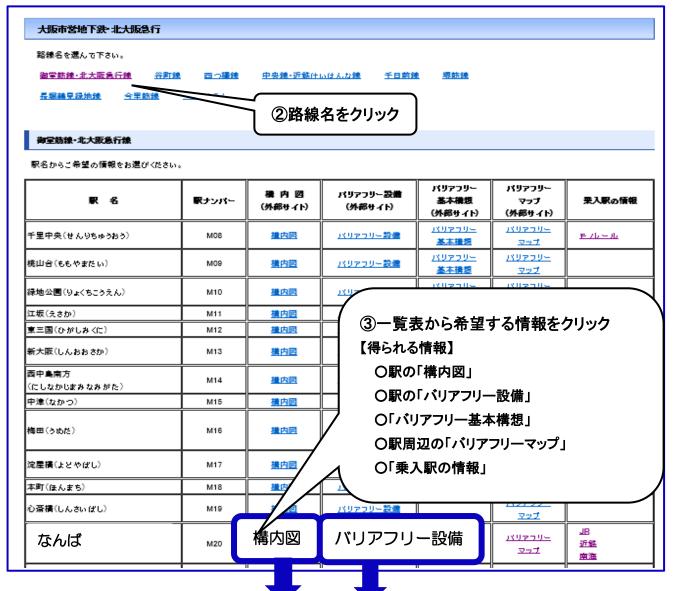
高齢者や障がい者等誰もが安全に安心して移動できるよう、大阪府から各鉄道事業者や市町村に対して、以下の取組みを働きかける。

鉄道事業者:利用者に提供している「構内図」等のバリアフリー情報の更なる充実 全ての駅に内方線を設置するよう要請(ホーム柵設置駅を除く)

市 町 村:バリアフリーマップ作成を含むバリアフリー情報の提供の更なる充実

【画面のイメージ】(大阪市営地下鉄「なんば駅」のバリアフリー情報を探す場合) 大阪府ホームページ TOP ⇒ 「くらし・住まい・まちづくり」 ⇒ 「まちづくり」 ⇒ 「まちのバリアフリー情報の提供」 ⇒ 「路線名からさがす」











大東市が作成したバリアフリーマップ(平成29年6月公表)

重点整備地区内にある生活関連施設のバリアフリー情報を提供している。

- ・住道周辺エリア
- ・市役所周辺エリア
- ・野崎駅周辺エリア
- ・四條畷駅周辺エリア

大東市バリアフリーマップ (住道駅周辺)

